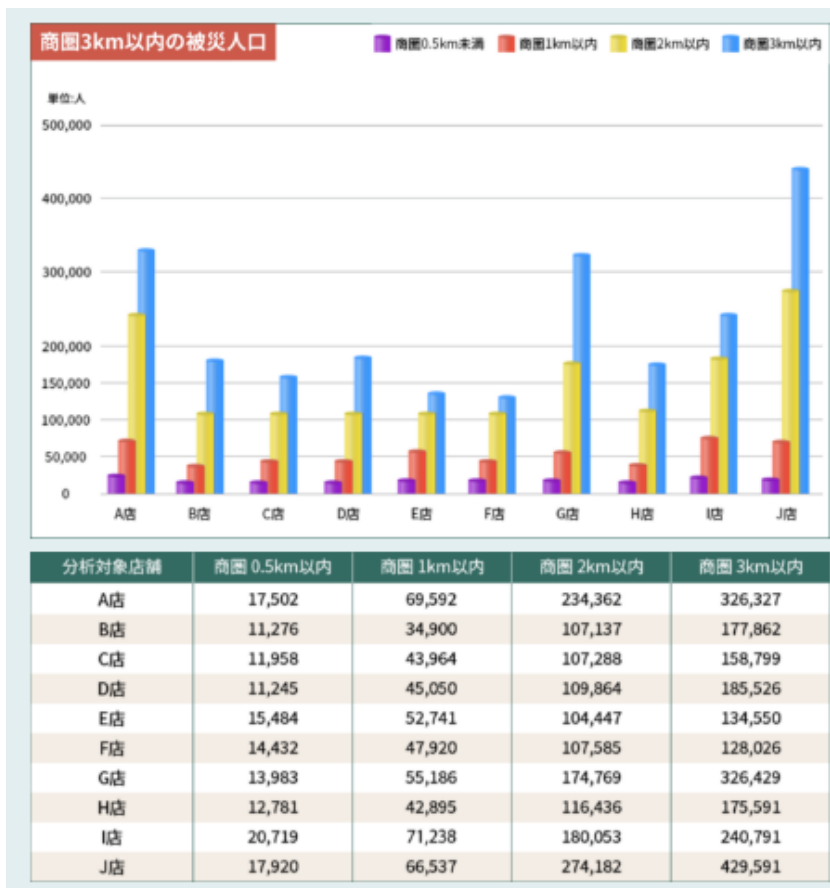


【商圏内自然災害リスク分析サービス】分析結果例

(1) 分析結果(店舗別・被災人口)例

店舗別に、商圏範囲内の被災人口を算出します。



(2) 分析結果(報告書考察)例

分析結果をどのように捉えればよいか、考察を行います。

＜考察結果例＞

- 〇〇店、〇〇店、〇〇店の商圏内被災人口が突出しているため、災害時には優先的に物資を供給することが望まれる。
なお、当該3店舗の内〇〇店のみ浸水が想定されていないため、この店舗を中心に周辺被災者に物資を供給する体制づくりが望まれる。
- 〇〇店、〇〇店、〇〇店は比較的隣接している。
そのため、単純集計結果は大きな結果になっているものの、最寄り店舗集計においては最寄り店舗の商圏に属するとの処理を行っているため、他の店舗と比較すると結果は想定的に小さくなっている。
- 今回の分析対象地域は大規模な浸水が見込まれる地域であり、浸水深3m以上の浸水被害（浸水地域）が主流となっており、早期損害復旧に時間を要することが想定される。
13店舗の内、浸水が想定される店舗は9店舗で、大部分を占めている。
そのため、商圏内被災人口が多い店舗を優先復旧店舗として位置づけて早期に復旧することを目指すなどの戦略も考えられる。

以上